

青森県現代俳句協会会報

第47回青森県俳句懇話会十和田大会

標記大会が7月28日(日)富士屋グラウンドホールで午前10時から開催された。当大会は平成28年から本協会が後援したことから青森県現代俳句協会賞が設けられています。その概要を本会員を中心に紹介します。

当大会への投句者は135名で、当日参加者は94名でした。

宿題はA夏季雑詠とB夏季雑詠の二題でした。その結果を各選者の天位・地位・人位について会員のみをご紹介します。

【総合順位】⑥佐藤いく子⑩南美智子⑬中村しおん⑭松宮梗子

席題第2位(青森県現代俳句協会会長賞) 中村しおん

【兼題】A夏季雑詠

泉 風信子選

地位 フェリーより車吐かれて雲の峰 稲部天津子

人位 吊革の二の腕まぶし更衣 佐藤 郁子

木附沢麦青選

天位 曝書してまた終活の遠ざかる 泉 風信子

地位 フェリーより車吐かれて雲の峰 稲部天津子

高橋 千惠選

人位 国道のま白き破線夏燕 後藤 瑞江

敦賀 恵子選

天位 僕は僕を信じてゐたよかたつむり森下 睦子

地位 緋鯉跳ね志功の画布に乗りあたり 田村 正義

人位 草笛をひとつ鳴らして老いにけり 坂本 幽弦

能登谷明子選

地位 昆布干す祖父のにおいの古番家 後藤 岑生

B夏季雑詠

対馬 迪女選

地位 浜小屋の薪は流木やませ吹く 森下 睦子

【席題】「日焼」草野 力丸選

地位 日焼して飛び出しそうな仁王の目 後藤岑生

東北地区現代俳句協会連合会総会及び第33回現代俳句東北大会

連合会の役員会は、俳句大会の会場と同じ秋田市の協働大町ビルで9月28日午前11時から行われ、現代俳句協会からは高野ムツオ副会長(本俳句大会の特別選者)と水野事務局長が同席しました。

【堅阿彌会長(秋田県)の挨拶の後、議長を堅阿彌会長がつとめて議事を進行した。最初に山形県から昨年度の決算報告と監査報告が提出された。次に秋田県から本年度の大会予算案について説明がありました。続いて青森県の泉風信子会長を新会長とする役員改選の

第33回現代俳句東北大会

記念講演「兜太ー晩年の俳句」

講師

現代俳句協会 事務局長 水野ムツオ様

第37回県下深浦俳句大会

日時 令和元年9月29日(土)

場所 深浦町役場文化ホール

当大会は本協会が本年も後援しており、協会員も多数参加しております。結果については、協会員と協会会長賞のみをお知らせします。

【総合順位】⑥松宮梗子 ⑩南美智子

兼題第1位(青森県現代俳句協会会長賞) 木村瑠美子

【兼題】A夏季雑詠

石崎 志亥選

特選 先頭の思考危ふし蟻の列 南 美智子

B夏季雑詠

牧 ひろし選

特選 大夕焼海もろとも沈みけり 後藤 岑生

布施 協一選

特選 絵手紙の蟹の缺のはみ出して 泉 風信子

佐藤いく子選

特選 廃船に龍の太文字草茂る 森下 睦子

高橋 千惠選

特選 燈の消えし帰り倭武多に闇が棲む 泉 風信子

原爆忌寝返りできぬ石ころごろ齋藤 泥雪

佳作 反抗期らしく崩しぬかき氷 泉 風信子

※大会入賞作品

入選 陽炎が故郷の話消したがある 泉 風信子

◎兼題

※高野ムツオ選

別選者があつた。

本大会の結果については、本県会員のみの紹介とします。

午後からは俳句大会が開催された。席題は「田(詠込)」であった。席題の選者は高野ムツオ特別選者があつた。

案が提出された。引き続き次回(来年度)の大会を青森県で開催することが議決され、泉会長から開催の決意表明がなされ、会議を終了した。



第37回県下深浦俳句大会
日時 令和元年9月29日(土)
場所 深浦町役場文化ホール
当大会は本協会が本年も後援しており、協会員も多数参加しております。結果については、協会員と協会会長賞のみをお知らせします。
【総合順位】⑥松宮梗子 ⑩南美智子
兼題第1位(青森県現代俳句協会会長賞) 木村瑠美子
【兼題】A夏季雑詠
石崎 志亥選
特選 先頭の思考危ふし蟻の列 南 美智子
B夏季雑詠
牧 ひろし選
特選 大夕焼海もろとも沈みけり 後藤 岑生
布施 協一選
特選 絵手紙の蟹の缺のはみ出して 泉 風信子
佐藤いく子選
特選 廃船に龍の太文字草茂る 森下 睦子
高橋 千惠選
特選 燈の消えし帰り倭武多に闇が棲む 泉 風信子
原爆忌寝返りできぬ石ころごろ齋藤 泥雪
佳作 反抗期らしく崩しぬかき氷 泉 風信子
※大会入賞作品
入選 陽炎が故郷の話消したがある 泉 風信子

特選 風吹けば魚の跳ねる夏暖簾 鈴木とまと

謹告

9月29日泉風信子会長が自宅にて静かに眠るようにご逝去されました。
謹んで心よりご冥福をお祈り申し上げます。

第59回五所川原市文化祭県下俳句大会

日時 平成30年10月14日(日)
場所 五所川原市中央公民館

今年も当大会を本協会が後援し、多くの協会員が参加しました。その結果について、協会員と協会長賞についてご紹介いたします。

【総合順位】②松宮梗子⑤阿保子星⑨成田みどり⑩中村しおん⑮田中三桃
青森県現代俳句協会賞
阿保 子星



→ 席題披露

【兼題】A当季雑詠
推薦 小野 寿子選
いつよりの空家ぞ門のこぼれ萩 関 礼子
蒲田 吟竜選
推薦 献血に日焼球児の腕並ぶ 阿保 子星

齊藤 泥雪選

推薦 黒猫の他には逢はず月見草 松宮 梗子

高橋 千恵選

推薦 めはじきや母にもんべの戦時あり 泉 風信子

推薦 献血に日焼球児の腕並ぶ 阿保 子星

高森ましら選

推薦 秋の駒飴玉が見える水平線 坂本 弦幽

竹鼻瑠璃男選

推薦 母の座に招き入れたる盆の月 成田みどり

推薦 善人を演じてゐたるぎりぎりす 中村しおん

推薦 流木は海の亡骸霧が湧く 後藤 岑生

西川 無行選

推薦 敗戦忌遠のくことの無い記憶 阿保 子星

能登谷明子選

推薦 噴水の隙間残して暮れゆけり 川村 英幸

推薦 おかはりの「おい」と呼ばれてとろろ汁 松宮 梗子

畑中とほる選

推薦 曼珠沙華石灯籠にマリア像 大瀬 響史

推薦 海鳥の岩陰に寄る残暑かな 佐藤いく子

浜田しげる選

推薦 敗戦忌遠のくことの無い記憶 阿保 子星

推薦 一徹の父の存念唐辛子 土田 紫翠

南 美智子選

推薦 天高しくよくよせぬがわが身上 関 礼子

吉田 紅一選

推薦 舞橋の橋脚長し晩夏光 佐々木朴花

席題「器」吉田千嘉子選

天位 林檎まつ赤器大きな師の逝けり 中村しおん

坂本 幽弦選

地位 月光や掌ほどの吾が器 成田みどり

地位 敦賀 恵子選

地位 地球てふ器に生きて小鳥来る 森下 睦子

富士 光生選

地位 月光や掌ほどの吾が器 成田みどり

地位 地球てふ器に生きて小鳥来る 森下 睦子

席題「柿」築館 秋水選

地位 子沢山の軒に大樹の柿熟れて 田中 三桃

地位 草野 力丸選

地位 延命治療いらぬと書いて柿を剥く松宮 梗子

席題「秋の声」大瀬 響史選

地位 コンパスの基軸の孤独秋の声 竹鼻瑠璃男

地位 髪ゴムをほどく週末秋の声 佐々木朴花

松宮 梗子選

地位 秋声や受け入れ難しと言ふ俳句 葛西秋遊子

木村 秋湖選

地位 秋声や受け入れ難しと言ふ俳句 葛西秋遊子

地位 布屋町錦町から秋の声 鳴海 顔回

第10回秋の吟行互選俳句大会

日時 令和元年10月27日(日)
場所 青森県物産館アスパム

今年32名の参加者で恒例の大会を開催しました。当日は珍しいことに青森湾に海上自衛隊の護衛艦が入港していて、それを句材にした属目吟が多かったようです。約2時間で青森駅からアスパムまでの肌寒い市街地を散策しての吟行でした。

【成績】

①後藤 岑生 陸奥湾は私の寝棺よ秋の潮

②田中 三桃 行く秋や風を透かして風信子

③南 美智子 護衛艦も波も鈍色秋深し

④中村しおん 半島を三つに揃へて水澄めり

⑤千葉 芳醇 護衛艦直線が好き秋の海

⑥藤田智恵子 汽笛まで紫紺の響く秋の湾

⑦油川 月萌 護衛艦の吐き出す煙天高し

⑧成田みどり 秋の雲海に捨てたき負の記憶

⑨橘川まもる 海晩秋海自の艦艇どつしりと

⑩三嶋 大久 ゆり鷗赤い絆の風にのり

新会長が決まりました

9月29日に泉会長が急逝されたことから、12月8日(日)本協会規約第10条に基づき、役員会を開催し、新会長の選出を審議しました。その結果、新会長に後藤岑生氏を全員一致で決定しましたのでお知らせします。

発行所 青森県現代俳句協会

発行人 後藤 岑生

〒030-0853 青森市金沢4丁目10-13